

「第5次吉田町総合計画基本構想（案）」に対するパブリックコメント 手続きの実施結果について（報告）

1 パブリックコメント手続きの目的

「第5次吉田町総合計画基本構想（案）」を公表し広く町民から意見を求め、計画策定の参考とする。

また、意見募集や、提出された意見に対して町の考え方を公表することにより、策定過程における町民参画の機会を確保する。

2 閲覧及び募集期間

平成27年12月15日(火)～平成27年12月28日(月)（14日間）

3 対象者

次のいずれかに該当する者

- (1) 町内に住所を有する者
- (2) 町内に事務所又は事業所を有する者
- (3) 町内の事務所又は事業所に勤務する者
- (4) 町内の学校に在学する者
- (5) 町税の納税義務者

4 閲覧及び意見提出書の配付場所

- (1) 町ホームページ
- (2) 吉田町役場3階企画課
- (3) 吉田町役場1階「吉田町情報コーナー」

5 意見募集結果

- (1) 意見提出者：1人
- (2) 意見数：5件（意見の内容は別紙のとおり）

ページ及び行数	意見（原文どおり）	対応
3 ページ	<p>4 時代の潮流</p> <p>【東日本大震災の後起きた福島第一原発事故の問題】</p> <p>原発事故の教訓や対策対応が盛り込まれていないことが気になりました。</p>	<p>対策対応については、基本計画及び個別計画に盛り込みます。</p>
14 ページ	<p>第7章</p> <p><u>○住民参画を推進する</u> <u>○誰もが輝ける社会を実現する</u></p> <p>【パブコメを小中学校の学生参加へ】</p> <p>住み良い町作りを考えるに当たり、子どもたちがこんな町に住みたいと考えを持つことで町へ関心や愛着がわき、町の発展や子から親に住みたい町を提案されることにより親も町のことを考えることに繋がり相乗効果が期待される。</p>	<p>施策を実施する際、子どもたちの意見収集等必要に応じて実施してまいります。</p>
14 ページ	<p>第7章</p> <p><u>○住民本位の行政を推進する</u></p> <p>【地域情報の発信の強化及び災害情報提供】</p> <p>ソーシャルネットワークが普及する今日、Facebook 等 SNS を活用して町のイベント情報や公共情報を発信することで吉田町はもとより広くは海外に吉田町をアピールでき集客の期待が持てる。</p> <p>また、災害時にはリアルタイムな情報発信により減災に繋がることが期待される。</p>	<p>施策を実施する際、SNS の活用について検討してまいります。</p>
9 ページ	<p>第2章</p> <p><u>○誰もが健やかに暮らせる環境を創出する</u></p> <p>【特定健診でのバリウムでの胃ガン検診を血液検査で簡素化】</p> <p>既に藤枝市で新しい胃ガン検査が行われている方法で、高齢者等や体の不自由な方にはバリウムを飲んでからの移動しながらの胃カメラ撮影が負担となっていることや、1人にかかなりの時間を費やす時間への負担軽減及び財政負担も減るのではと考えている。</p> <p>(以下抜粋)</p> <p>胃がんのほとんどの原因といわれている「ピロリ菌」の有無と、胃の萎縮の程度をみる「ペプシノゲン」を簡単な血液検査で実施し、胃がんのなりやすさを判定するというもので、胃がんの早期発見と受診者の拡大を目指します。</p> <p>特定健康診査や肺がん・大腸がん・前立腺がん検診と併せて受診することが可能です。</p> <p>「ピロリ菌胃がんリスク判定」スタート！ 藤枝市 http://bit.ly/226ZgJq</p>	<p>国の指針に沿って実施しています。その他に効果的な方法があれば検討してまいります。</p>
8 ページ	<p>第1章</p> <p>【津波災害対策への推進】</p> <p>防潮堤のかさ上げにともなってコンクリート堤防では冷たく感じ富士山と海との景観を損なうことや、観光やシーガーデン構想を踏まえ、コンクリート堤防を見えにくいよう緑地をすることにより、住民への安心と観光資源への活用が出来ないものかと考える。</p> <p>森の防潮堤のようなことがかさ上げ堤防の全面にあればコンクリート堤防を見えにくくするのではないかと、また植樹祭を行うことで何年経っても植えたことにより吉田町への愛着がいつそう増すと考える。</p>	<p>基本構想に反映するものとは異なりますが、考え方につきましては、整備を実施する際に参考とさせていただきます。</p>

